

島根県立農林大学校

Shimane Prefectural College for Agriculture and Forestry

学校要覧
2019



沿革

- ◆昭和 10 年 三瓶農民道場設立、同じ年に島根県森林道場(旧吉田村杉戸)が開設、翌年県営化
- 昭和 20 年 開拓増産修練農場 に改称
- 昭和 21 年 三瓶修練農場 //
- 昭和 23 年 三瓶農事指導所 //
- 昭和 24 年 三瓶経営伝習農場 //
- ◆昭和 26 年 三瓶経営伝習農場を廃止し、
農業経営研修所を農事試験場に併設
- ◆昭和 38 年 農林総合研修所を出雲市に新設
附属施設
養蚕研修所
畜産研修所
林業研修所
- ◆昭和 54 年 農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
- ◆昭和 56 年 大田市に移転
- ◆昭和 57 年 農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
- ◆平成 18 年 森林管理科飯南町(中山間地域研究センター内)へ移転
- ◆平成 24 年 農林大学校に改称、有機農業専攻を新設、森林管理科を林業科に改称



教育の目的と基本方針

目的	次代の島根県の農林業をリードする農業者及び林業技術者の養成
基本方針	<ul style="list-style-type: none">● 高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。● 広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。● 先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。● 農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。
教育の特徴	<ul style="list-style-type: none">● 実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、林業技術者になるための専門学習に特化
	<ul style="list-style-type: none">● 学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む

教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

養成部門

高校卒業程度を対象にした2年間の学習課程

研修部門

新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのためのさまざまな研修を実施

養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

※令和2年度から()内の定員となります。
また、「短期農業経営者養成科(定員5)」を設置します。

科名	専攻	定員	修業場所	修業年限
農業科	有機農業	30人 (40人)	大田市波根町	2年
	野菜			
	花き			
	果樹			
肉用牛				
林業科		10人 (20人)	飯石郡飯南町上来島	

有機農業専攻



有機農業の理念や、水稻と野菜の化学肥料や化学農薬を使わない土づくり、病害虫対策、雑草対策や有機JAS認証制度を学び、栽培技術を実習で習得します。また、県内の有機農場実践農家6経営体(グループ)による現地事例の講義や視察、農家体験受け入れを通して有機農業の実践的で幅広い考えを習得できます。

野菜専攻



メロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜の基礎をしっかりと学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して栽培計画を作成し、育苗から収穫・出荷まで、責任を持って管理を行うことで、一貫した栽培技術を身につけます。また、美味しまね認証を取得して安全安心なトマトの栽培を行っています。

花き専攻



きく・トルコギキョウ・シクラメンなどを基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培(播種・育苗・栽培管理・収穫)、出荷、結果の発表と、一貫した栽培技術と経営感覚を習得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

果樹専攻



ぶどう、西条柿を中心に、プラムやカンキツのハウス栽培、ぶどうでは本県オリジナル品種「神紅」の試験栽培にも取り組んでいます。ぶどうシャインマスカットのLED照射による糖度上昇対策、西条柿ジョイント栽培による早期成園化等の新技術を導入しながら、日々の実践を通じて栽培技術・知識を習得します。

肉用牛専攻



家畜飼養管理、家畜栄養飼料及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一貫経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

林業科



森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採、搬出など「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて習得します。2年生の専攻実習においては「森林プランナーコース」と「森林エンジニアコース」のいずれかを選択し、森林経営の企画・提案力の向上、効率的な木材生産技術の向上に取り組めます。

農林大の一日

8:40~	8:50~10:20	10:30~12:00	12:00 ~13:00	13:20~14:50	15:10~16:40	~17:00
HR	午前は講義中心		授業準備	午後は実習中心		授業整理
	1限(90分)	2限(90分)	昼休み	3限(90分)	4限(90分)	
						

イベントカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式	鳥取農大交歓会 春季スポーツ大会	就農ガイダンス	農大祭 就職セミナー オープンキャンパス	夏季スポーツ大会 オープンキャンパス	前期試験 先進農林業者体験学習(2年)	県外(大阪)学習2年 中国地区農大生の集い	農林大市場 秋季スポーツ大会	日本農業技術検定	中国四国農業大学校プロジェクト発表会 卒論課題発表会	冬季スポーツ大会 全国農業大学校プロジェクト発表会 就職セミナー	卒業式 後期試験



学校行事

- 農大祭をはじめ、スポーツ交流会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
- オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。
(令和元年度は7月26日、31日、8月4日、21日(21日は農業科は午後のみ))



教育科目

農 業 科	共通科目		農業概論、作物概論、植物生理、土壌肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、農業簿記演習、情報処理、農業基礎実習
	専 攻 科 目	有機農業	有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機野菜・有機稲作）、地域農業実習、地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進地農林業者等体験学習
		野菜	園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		花き	園芸各論（花き）、専攻実習（切り花、鉢花等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		果樹	園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、梨、いちじく等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
	肉用牛	家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草地飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進地農業者等体験学習	
林業科		林業概論、森林マネージメント、森林計画、樹木、森林測樹、基本測量、応用測量、林業経営、林業機械、森林作業システム、森林機能、森林路網、育苗技術、育林技術、森林保護、木材利用、木材流通・販売、森林資源活用、森林土壌、木造建築、情報処理、専攻実習、先進地農林業者等体験学習	

※令和2年度から一部の科目を変更します。

資格・免許

在学中、次の免許又は資格等が取れるように支援します。

●全科共通

- ◇大型特殊運転免許 ◇フォークリフト運転技能者 ◇ボイラー取扱技能者
- ◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用） ◇刈払機取扱作業者
- ◇毒物劇物取扱者（一般、農業用品目） ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
- ◇ガス溶接 ◇小型移動式クレーン運転技能者 ◇日本農業技術検定 ◇狩猟免許（わな猟免許）



●花き専攻

- ◇フラワー装飾技能士（2・3級） ◇色彩検定 ◇園芸装飾（室内園芸）技能士（3級）

●肉用牛専攻

- ◇家畜人工授精師 ◇家畜商 ◇削蹄師



●林業科

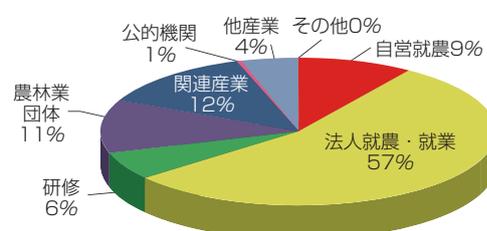
- ◇林業種苗生産事業者 ◇林業架線作業主任者 ◇機械集材装置運転者 ◇玉掛け技能者
- ◇チェーンソー作業従事者 ◇車両系林業機械運転業務従事者特別教育 ◇森林情報士（2級） ◇救急法救急員

進路

卒業後の進路は、すぐに就農・就業（自営や農業法人、森林組合等に就職）する人、農協などの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職する人など多様ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。

卒業生の進路状況（過去3年間：94名）



主な進路（H29、30年度実績）

- 自営就農：有機農業、野菜、花き、果樹
- 農業法人等：①島根ワイナリー、ライスフィールド②、③岡野農場、④旭養鶏舎、
（農）あかつきファーム今在家、JAアグリ開発⑤、⑥出雲製茶、⑦かつべ種畜牧場、⑧神田農産、
まるなつ農場、（農）横尾衛門、（農）やしま宮農組合、⑨コッシーふぁーむ、TC 浜田農場⑩、
⑪玉木園芸、⑫農縁隊清滝牧場、⑬藤増
- 農業団体：島根県農業協同組合、JAアグリ開発⑭
- 森林組合等：石央森林組合、飯石森林組合、松江森林組合、高津川森林組合、邑智郡森林組合、⑮赤松産業、
山興緑化⑯、伸共木材協同組合、大田市森林組合、須佐チップ工業⑰
- 関連産業：⑱一畑パーク、平田生花店

在校生からのメッセージ



私は将来、農業で地元を盛り上げたいという夢を持ち入学しました。有機農業専攻を選んだ理由は、今ある環境を守っていきたく思ったためです。自然と調和しながら育っていく作物には強い生命力を感じます。皆さんの入学をお待ちしています！
農業科有機農業専攻 2年 田中亜由子

私は卒論で、自動で施肥灌水できるトロ箱栽培を使い、「メロンの品種比較」に挑戦中です。担当ハウスの管理を責任を持って行うため大変ですが、大きなやりがいと達成感があり、毎日がとても充実しています。

農業科野菜専攻 2年 渡部瑞季



入学した頃は農業知識もなく不安で一杯でしたが、日々の授業や先輩からのアドバイスなどで多くの事を学びました。また、毎日の実習では実践技術も磨いています！明るく愉快的な友人と一緒に成長していることを実感でき、充実した毎日を過ごしています。

農業科花き専攻 2年 前嶋裕佑



私は、非農家出身で県外から来ており、知り合いもいないため色々な不安を持っていました。しかしながら、果樹専攻では、校外実習や交流を行う機会も沢山あり、農業の厳しさや楽しさなどを今いる仲間と共に強く感じています。そしてここは、失敗しても成長できる場所だと思います。

農業科果樹専攻 2年 小平亮介



高校時に農業を学ぶため大阪から島根に、いま、農林大肉用牛専攻。しっかりと実践知識や技術を身に付けつつ、牛に愛情をたっぷり注ぎ、そして牛たちからエールをもらって、楽しく学んでいます。共感できる友達もいっぱい！

農業科肉用牛専攻 2年 彦田絵梨奈



私が林業科に入ったのは、製材業を営む父の跡を継ぎたいと思ったからです。林業は傾斜地で重量物を扱う仕事であり、実習は楽ではありませんが、将来の林業を担う仲間と共に基礎を学び、協力し合いとても充実した毎日を送っています。林業の知識が無い方でも大丈夫です。ぜひ、林業科で共に学びましょう。

林業科 2年 洲濱俊輔



卒業生からのメッセージ



私は今、松江市忌部町で花と野菜とブドウを作っています。農林大で2年間一から花の育て方・管理の仕方などたくさんのことを学ぶことが出来ました。農林大で学んだことを活かしながら、毎日頑張っているところです！

H30年度卒業生 伊藤成海

研修部門

これから農業を始めようとする方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
島根県農業担い手育成研修	新たに就農しようとする方を対象とした農業技術研修で、有機農業・野菜・花き・果樹・畜産（肉用牛）のうち希望する分野で講義及び実習を通じて基礎的な栽培・飼育技術を身につけることができます。	新たに就農する方 定員 5名程度	4月～翌3月
有機農業実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習と講義を通して、有機栽培の基礎知識・栽培技術等を習得します。	有機栽培実践者 有機栽培予定者 定員 5名程度	5月～10月 (週1回、全21回)
野菜実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習を通して、野菜経営の基礎知識・栽培技術等の習得を行います。	野菜栽培実践者 野菜栽培予定者 定員 5名程度	5月～10月 (週1回、全16回)

林業技術を高めたい方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
林業エンジニア研修	林業の生産性向上を図るため、小面積皆伐地における効率的な作業システムの導入・運用に必要な、専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材及び林業架線作業技術者を育成します。	認定事業体の現場技術者等	林業架線作業（基礎・応用）・簡易架線集材コースを設定 5月～10月の間に各2～10日間実施

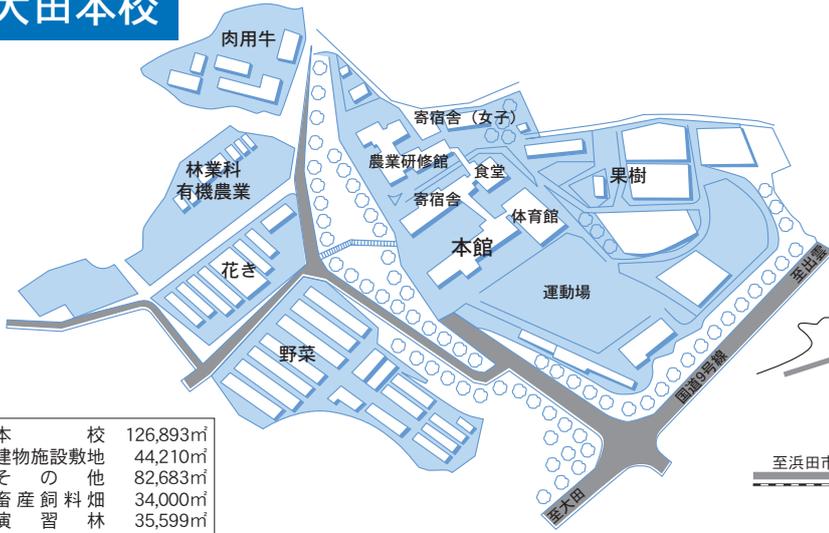
その他の研修

研修名	内容	対象者	開催時期
島根の農林業体験教員研修	県内の小中高校教員を対象に、農作業体験等を通じて農林業に対する理解促進や、農林業体験学習への取り組みを支援します。島根県教育委員会の後援研修です。	県内小中高校教員 定員 40名程度	8月中旬（2日間）
しまねアグリビジネス実践スクール「農福連携指導者養成コース」 主催：島根県農業経営課	福祉事業所の職員などを対象に、果樹・野菜の農作業の仕方を実技中心に習得し、障がい者のみなさんに適切な作業をしていたくための指導技術を学ぶ研修です。	福祉事業所職員、特別支援学校教員等 10名程度	4月～翌2月 毎月1、2回程度



農林大学校 施設・設備 配置図

大田本校



案内図

- ・波根駅から徒歩約15分
- ・大田市駅から約6km



本 校	126,893㎡
建物施設敷地	44,210㎡
その他	82,683㎡
畜産飼料畑	34,000㎡
演習林	35,599㎡



清友寮(せいゆうりょう)

農林大学校敷地内にある男子寮です。部屋は一人一室です。



友波寮(ゆうなみりょう)

農林大学校敷地内にある女子寮です。部屋は一人一室です。



飯南寮(いいなんりょう)

飯南校から約3kmの地点にある学生寮(男女)です。部屋は一人一室です。

※清友寮・友波寮は有線・無線LAN、飯南寮は有線LANによるインターネット接続が可能です。

林業科(飯南校)



※飯南校は島根県中山間地域研究センター施設の一部を使用しています。

島根県立農林大学校

ホームページやfacebookで学校の様子を随時掲載しています。
【新着情報】をチェックしてみてください。



(大田本校)

〒699-2211 島根県大田市波根町970-1
TEL 0854-85-7011 FAX 0854-85-7113

(林業科)

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2100 FAX 0854-76-2103

E-mail nodai@pref.shimane.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>
facebook <https://www.facebook.com/shimane.norindaigakko/>